

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		下水道接続事業					
事業の概要	<p>下水道の整備は町の重点事業の一つであり、「下水道の供用開始に伴い、区間に位置する公共施設の水洗化を速やかに実施する。未供用区間についても共用され次第、早期に実施する。」以上のことを基本指針として取り組んでいる。今般下水道供用が可能になった3施設の下水道接続を、速やかに実施するものである。</p> <p><内容> 岩滝第4分団詰所下水道接続事業 岩屋保育所下水道接続事業 岩屋小学校下水道接続事業</p>						
	事業期間	平成18年度					
	総事業費	9,131	本年度事業費	9,131	交付金交付額	4,452	
事業評価	事業の必要性	下水道の整備は町の重点事業の一つであり、「下水道の供用開始に伴い、区間に位置する公共施設の水洗化を速やかに実施する。未供用区間についても共用され次第、早期に実施する。」以上のことを基本指針として取り組んでいる。今般下水道供用が可能になった3施設の下水道接続を、速やかに実施するものである。					
	事業の有効性						
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		下水道供用可能となった区域における公共施設を率先して下水道接続することで、民間施設における下水道接続を促進するものである。					
4 広域的波及成果							
下水道接続により雑排水の環境中への排出がなくなり、自然環境にかかる負荷を軽減し、自然環境保護に資する。							
5 行財政改革に資する成果							
公衆衛生を良好に維持するために下水道は非常に大きな効果を発揮するものであり、行政としては下水道接続可能となった公共施設を速やかに下水道化するべきである。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。